



平成 26 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ソ ケ ッ ツ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 浦 部 浩 司
(コード番号:3634 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 管 理 本 部 長 宮 木 公 平
(TEL. 03-5785-5518)

営業費用(受注損失引当金)の計上、特別損失(構造改革費)の発生見込み及び 業績予想、配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は、第2四半期会計期間に営業費用(受注損失引当金)を計上することといたしましたので、お知らせいたします。また、平成 26 年 10 月 28 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、第3四半期会計期間末以降に構造改革に取り組む方針を決定し、これらに係る費用を特別損失として発生する見込みとなりました。以上から、平成26年5月2日に公表した平成27年3月期第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)及び通期の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、業績予想及び配当予想の修正を受けて役員報酬の減額を実施することを決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 営業費用(受注損失引当金)の内容について

重要パートナー企業へのサービス提供に向けたデータベース開発において、第2四半期会計期間中を目処に検収を予定しておりましたが、機能改善等の必要性が発生したことから、検収時期の遅延により開発コストが増加する見込みとなりました。そのため、追加の引当金 66 百万円を計上いたします。

2. 特別損失(構造改革費)の内容について

重要パートナー企業との引当金の追加並びに関連売上の遅れ及び新規取引先の未達成等から通期の業績予想を鑑み、追加対策として構造改革に取り組んで参ります。

構造改革の内容としては、コスト削減を中心に①外注加工費の削減(開発の効率化)②人員の削減(営業・運用の効率化)③オフィスの統廃合④その他経費の削減となります。

これらの実施によって費用が発生する見込みとなります。なお、関連する費用については、事業構造改革費として特別損失 55 百万円を今回の通期業績予想に見込んでおります。

3. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

平成27年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月2日発表)	百万円 1,000	百万円 △180	百万円 △180	百万円 △181	円 銭 △75.41
今回修正予想(B)	911	△294	△291	△295	△122.92
増減額(B-A)	△89	△114	△111	△114	—
増減率(%)	△8.9	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期(累計))	1,134	30	27	△153	△66.81

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月2日発表)	百万円 2,500	百万円 5	百万円 5	百万円 4	円 銭 1.67
今回修正予想(B)	2,000	△380	△379	△439	△182.43
増減額(B-A)	△500	△385	△384	△443	—
増減率(%)	△20.0	—	—	—	—
(参考)前期実績 (平成26年3月期)	2,197	△131	△135	△758	△322.58

平成27年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月2日発表)	百万円 980	百万円 △160	百万円 △161	円 銭 △67.09
今回修正予想(B)	888	△288	△292	△121.49
増減額(B-A)	△92	△128	△131	—
増減率(%)	△9.3	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期(累計))	1,086	30	△150	△65.84

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成26年5月2日発表)	百万円 2,470	百万円 10	百万円 9	円 銭 3.75
今回修正予想(B)	1,980	△345	△400	△166.23
増減額(B-A)	△490	△355	△409	—
増減率(%)	△19.8	—	—	—
(参考)前期実績 (平成26年3月期)	2,121	△126	△743	△316.13

(2)修正の理由

重要パートナー企業へのサービス提供に向けたデータベース開発において、第2四半期会計期間中を目処に検収を予定しておりましたが、機能改善の必要性が発生したことから、検収時期の遅延により、それらに係る開発コストが想定より増加する見込みとなりました。そのため、追加引当金 66 百万円の計上による売上原価の増加並びに重要パートナー向け関連売上の遅れ及び新規開拓開発案件の未成立等による売上高の減少となる見通しとなりました。以上の理由から、第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。なお、通期におきましては企画営業の進捗状況等を再定義し、収益改善を早期に図るために損益分岐点を引き下げる施策として構造改革に取り組んで参ります。構造改革については、外注加工費の削減、人員の削減及びオフィスの統廃合等を実施していく予定であり、これらに係る費用を特別損失 55 百万円として通期計画に織り込んでおります。そのため、通期の業績予想もあわせて修正いたします。

なお、重要パートナー企業とのデータベース開発については、10 月下旬に一部提供を開始しております。第4四半期会計期間中を目処に完全提供を目指して参ります。

4. 平成27年3月期配当予想の修正について

(1)修正の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成26年5月2日発表)	0.00	5.00	5.00
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
当期実績			
前期実績 (平成26年3月期)	0.00	5.00	5.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要な課題の一つと認識しており、長期的な視点に立った安定的な配当を継続することに努めるとともに、経営基盤の強化と収益見通しを勘案しながら利益還元を実現することを基本方針としております。

しかしながら、当期の期末配当につきましては、収益見通しが赤字となり、厳しいことから、誠に遺憾ではありますが、一旦無配とさせていただきます。ただし、当期下期に進める構造改革が来期軌道に乗った時点で、来期中もしくは来期末での復配を検討いたします。

5. 役員報酬の減額について

このたび、平成 27 年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。また、監査役から監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、あわせてお知らせいたします。

(1) 役員報酬減額の内容

取締役(子会社含む)の役位に応じて、役員報酬月額のうち50%から10%の幅で減額
監査役については、役員報酬月額の10%を自主返上

(2) 対象期間

平成 26 年 11 月から平成 27 年3月までの5か月間

(3) 役員賞与の全額不支給

平成 27 年3月期の業績に係る役員賞与については、全額支給しないことといたします。

なお、本資料に関する詳細については、同日付で公表しております「2015年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関する補足資料」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上